



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 デジタルアーツ株式会社
コード番号 2326 URL <http://www.dai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

(氏名) 道具 登志夫
(氏名) 眞田 久雄

TEL 03-5220-1160

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,975	4.6	355	9.5	354	10.6	214	18.7
24年3月期第3四半期	1,888	16.7	324	△20.5	320	△21.6	180	△22.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 214百万円 (18.7%) 24年3月期第3四半期 180百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1,555.07	1,554.31
24年3月期第3四半期	1,321.89	1,314.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,116	3,340	78.2
24年3月期	4,101	3,212	75.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,218百万円 24年3月期 3,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	600.00	600.00
25年3月期	—	300.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	300.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,960	9.3	720	22.7	722	27.8	434	40.2	3,146.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	141,330 株	24年3月期	139,926 株
25年3月期3Q	3,100 株	24年3月期	3,100 株
25年3月期3Q	138,074 株	24年3月期3Q	136,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における当社グループを取り巻く経営環境は、欧米景気の減速や中国その他の新興国の成長鈍化傾向により、景気の先行きには依然として不透明な状況が続いております。これに対して国内では、東日本大震災の復興需要等による緩やかな回復が続き、12月の政権交代後の経済政策への期待感による円安と株価の回復が見られました。この結果、IT市場においても現行システムの再構築や更新などに加え、抑制や先送り傾向が続いていた情報システム投資にも、改善の兆しが見え始めております。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,975,206千円（前年同期比104.6%）、売上原価は538,716千円（前年同期比119.7%）、販売費および一般管理費は1,081,225千円（前年同期比97.1%）となりました。営業利益は355,264千円（前年同期比109.5%）、経常利益は354,565千円（前年同期比110.6%）、当期純利益は214,714千円（前年同期比118.7%）となりました。

各市場ならびに案件に対して組織的な拡販活動を推進した結果、売上高、利益額ともに前期を上回る結果となりました。特に、売上高は、公共向け市場において大型案件の受注があった前期を上回る売上高となりました。

各市場の業績は次の通りです。

企業向け市場

多発する企業の機密情報搾取を狙った標的型サイバー攻撃、ホームページの改ざん、並びに機密情報の流出被害を背景とする情報漏洩対策ニーズの高まりを受け、主力商品であるWebフィルタリングソフト「i-FILTER」及び電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」の販売は順調に推移しております。特に11月に販売を開始した“業界初”の電子メール送信“後”の添付ファイル管理を実現した「m-FILTER」Ver. 3.5は、好調に伸長しております。また、旺盛なクラウドサービスに対するニーズから、「i-FILTER」ならびに「m-FILTER」のクラウドエディションは好調に推移しました。

主力製品に加え、既にiOS版を販売しているスマートデバイス用Webフィルタリングサービス「i-FILTER ブラウザー」のAndroid版の提供開始、純国産のセキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」の機能強化、さらにパスワードレスのファイル暗号化ソリューション「FinalCode」の拡販を行い、情報セキュリティメーカーとして順調に製品ラインナップを拡充しております。

この結果、企業向け市場の売上高は、982,164千円（前年同期比106.4%）となりました。

公共向け市場

継続的な中央省庁への営業活動による案件受注や、メール送信後に添付したファイルを追跡・削除ができる機能を搭載した「m-FILTER」の販売増加、さらには地場パートナーに対する拡販効果に伴い、官公庁や地方自治体への販売が順調に進みました。

この結果、公共向け市場の売上高は769,138千円（前年同期比101.4%）となり、大型案件の受注があった前期を上回る結果になりました。

家庭向け市場

スマートフォン向けアプリの「i-フィルター」（iOS版ならびにAndroid版）は、携帯電話販売事業者（携帯ショップ）を利用した販促活動の本格稼働により、順調に推移しております。また、年度末の子供への携帯端末購入増加機会に備え、「i-フィルター」の購入拡大施策の実施や、大手携帯電話会社との協業の準備を進めております（ソフトバンクモバイル株式会社にアプリフィルタリングシステム及びWebフィルタリングシステムをOEM提供することを12月に発表）。

この結果、家庭向け市場の売上高は、223,903千円（前年同期比108.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、法人税の中間納付等による現預金の減少65,529千円、受取手形及び売掛金の減少93,561千円、ソフトウェアの開発に伴う無形固定資産の増加144,168千円、投資その他の資産の増加19,233千円等により、前連結会計年度末に比べ15,245千円増加し、4,116,653千円となりました。

負債は、法人税の中間納付による未払法人税等の減少120,740千円等により、前連結会計年度末に比べ112,086千円減少し、776,463千円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加214,714千円、新株予約権の増加4,980千円、新株発行による資本金及び資本剰余金の増加31,201千円、配当による利益剰余金の減少123,564千円により、前連結会計年度末に比べ127,331千円増加し、3,340,189千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、平成24年10月30日に公表いたしました業績見通しと変更はございません。

引き続き、ご利用いただいている企業等の皆様のニーズを把握しながら、随時製品に反映させていくことで、お客様の弊社製品に対する支持を確実にし、製販一体体制のもと、当社グループ一丸となって業績の向上に努めてまいります。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,905,305	1,839,776
受取手形及び売掛金	724,573	631,011
有価証券	100,714	100,760
製品	3,593	11,462
その他	98,090	114,604
流動資産合計	2,832,277	2,697,615
固定資産		
有形固定資産	149,614	136,120
無形固定資産		
ソフトウェア	555,860	636,408
その他	57,173	120,793
無形固定資産合計	613,033	757,202
投資その他の資産	506,481	525,715
固定資産合計	1,269,129	1,419,037
資産合計	4,101,407	4,116,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,643	756
未払法人税等	129,145	8,404
賞与引当金	87,298	49,038
前受金	389,627	411,908
その他	245,470	274,248
流動負債合計	858,185	744,356
固定負債		
資産除去債務	29,733	31,304
その他	630	802
固定負債合計	30,363	32,107
負債合計	888,549	776,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,989	713,590
資本剰余金	684,623	700,222
利益剰余金	1,894,540	1,985,690
自己株式	△180,518	△180,518
株主資本合計	3,096,634	3,218,985
新株予約権	116,223	121,204
純資産合計	3,212,858	3,340,189
負債純資産合計	4,101,407	4,116,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,888,315	1,975,206
売上原価	450,100	538,716
売上総利益	1,438,214	1,436,490
販売費及び一般管理費	1,113,763	1,081,225
営業利益	324,450	355,264
営業外収益		
受取利息	505	644
受取手数料	195	235
未払配当金除斥益	—	869
雑収入	14	272
営業外収益合計	715	2,022
営業外費用		
株式交付費	81	317
為替差損	408	2,403
支払手数料	4,000	—
営業外費用合計	4,490	2,721
経常利益	320,676	354,565
特別利益		
新株予約権戻入益	1,631	5,252
受取和解金	2,578	—
特別利益合計	4,210	5,252
特別損失		
固定資産除却損	412	508
事務所移転費用	4,000	—
特別損失合計	4,412	508
税金等調整前四半期純利益	320,474	359,309
法人税等	139,662	144,595
少数株主損益調整前四半期純利益	180,812	214,714
四半期純利益	180,812	214,714

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	180,812	214,714
四半期包括利益	180,812	214,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,812	214,714

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

新株予約権の行使による新株発行に伴い、第1四半期連結会計期間において資本金が15,601千円、資本剰余金が15,599千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が713,590千円、資本剰余金が700,222千円となっております。